

## メール文書からの感情等の特徴抽出について

200512013 遠藤 建城

現在、メールといふものは様々なところで使われており、そのメールの文章には相手の様々な感情が含まれていることが多い。人間はメールの文章を読めば含まっている感情を多少は理解できる。人間にできるのならばコンピュータにもメールの文章に含まれる相手の感情を多少は理解できるのではないかと考えた。本研究ではまずメールの文章から相手の感情等の情報を抽出する方法について幾つか挙げ、それぞれ考察する。次にその中から 1 つを選択し、その方法でメールの文章を解析する際に必要な指標を幾つか挙げ、それらの性質について具体的なプロセスの文章を用いて実験し考察した。

## 表変換ソフトの開発について

200512073 星野 篤

パソコンやワークステーションで作表をするには専用のソフトを用いることが多い。しかし、そのようなソフトの場合、作表したデータを確認するにはソフト上でしか編集や確認することはできない。逆に、*LATEX* や *HTML* ではテキストベースで、ソフトに縛られることがなく作表が可能であるが、複雑な構成の表、例えば結合が多用されているような表を作成する場合、データ構造と最終的な表の形との関連がわからにくくなるため面倒な作業となる。

そこで、本研究ではソフトに依存しない保存形式をとり、単純な構成で表を表現できる構造を考える。その構造を Perl のプログラムで実装し、他の形式に変換できるソフトについて検討した。

## 交通流のセルオートマトンモデルの基本図について

200512095 若山 純生

交通流解析には流体モデル、セルオートマトンモデルなどがある。流体モデルは交通の流れを連續した液体のように考えたモデルで、セルオートマトンモデルは道路をセルに分割し、各セル毎に車両の変化を離散的な時間の変化で考えたものである。しかし、セルオートマトンモデルには物理的な理屈がないため、セルオートマトンモデルの評価をする場合、理論の確立している流体モデルと比較する必要がある。だが、この 2 つは、データの型が異なるため、直接比較するのは難しい。例えば、セルオートマトンモデルの基本図を作成し、流体モデルと比較する方法がある。

今回はその比較を行うためのセルオートマトンモデルの基本図を作成することを目指とする。本研究では今までセルオートマトンモデルの基本図を作成するときに厳密な定式化がされていなかった。よって本研究では、セルオートマトンモデルのいくつかのモデルの基本図を式から求めることを目的とする。